

学長から埼玉大学学生・教職員へのメッセージ

根岸右司氏の日本芸術院賞受賞の報に際して

2017年3月23日、本学卒業生の根岸右司氏が、日本芸術院賞（第1部門（美術））を受賞されたという大変喜ばしいニュースが流れました。埼玉大学の学長として、また一同窓生として、心からの祝意を表したく思います。

根岸氏は、埼玉大学教育学部美術科を1961年に卒業されておられますが、在学中に、後に芸術院会員となる故渡辺武夫先生に指導を受け、高校の美術教諭というキャリアを持ちつつ、画家として活躍を続けられ、現在は日展の理事を務めておられます。緻密な雪景色の油彩の名手でいらっしゃるということで、日本芸術院賞授賞の対象となった作品は「古潭風声」（日展出品作）です。

根岸氏の埼玉大学時代における、さまざまな学問、先生、仲間との出会いが、この度の榮譽につながったであろうことは、在學生や卒業生のみならず、教職員にとっても大きな誇りであり、自信にもつながります。

根岸右司氏の日本芸術院賞受賞の朗報は、一昨年 of 梶田隆章氏のノーベル物理学賞受賞、昨年 of 小松和彦氏の文化功労者選出の朗報に続くものです。大学への期待や大学に求められる使命が多様化する状況にあって、埼玉大学はこれからも、多様な知を継承し、発展させ、新しい価値を創造するという、大学本来の基本的な使命をしっかりと果たすとともに、地域活性化の中核拠点としての役割を積極的に担って、より一層の輝きを放っていきます。大学の構成員である学生、教職員の皆さんの理解と協力をお願いするとともに、さらなる活躍を期待します。

2017年3月26日

埼玉大学長 山口 宏樹